

貴重なご意見 ありがとうございました

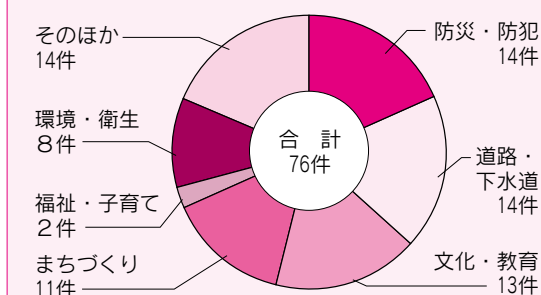
11月に市内6会場でC・S（市民満足度）地区ミーティングを実施しました。
市長を始め、市の幹部が皆さんから市政に対する意見や要望を伺いました。なお、内容は要約してあります。
※掲載している写真の発言者と掲載内容は関係ありません。
問合せ 秘書情報課広報統計係



文化・教育

Q 中後町のちびっこ広場のブランコが壊れているので、直して欲しい。
A 公園の危険箇所を順番に調査しているが、現場を確認して安全な対応をする。

いただいた意見の内訳



防災・防犯



Q 消防署に勤めたい若者も多い。消防団員として何年か務めると消防署に勤められるように推薦してもらえると団員を集めやすい。
A 消防団と消防署は別の組織なので難しい。学生には消防団活動の証明を発行する制度を検討中であり、就職に役立てて欲しい。

Q 消防団員確保のために平成28年度から新制度を検討しているか。
A 企業防災力向上研修支援制度として消防団員の推薦に対する企業への補助金、訓練や火災出動時の報酬の見直し、公共施設利用券や学生への認定書配布などを実施予定。

その他

Q 職員改善提案の費用対効果について、データでの発表があっても良いのでは。
A 情報量が多く広報紙などで公開することは難しいが、市ホームページの市長のページに毎月C・Sメッセージとしていろいろな情報を掲載している。是非ご覧いただきたい。



△市長のページのC・Sメッセージ

Q 碧南市の市議会議員の政務活動費はいくら交付されているのか。また政党の活動と政治的広報活動の区別をどこでつけているのか。
A 年間19万8千円の政務活動費が支払われ、報告書と領収書を提出してもらっている。政党の活動はこれに含まないため、事務局で必要な項目に該当するかをチェックしている。



道路・下水道

Q 蜷川河口権現崎に可動式水門建設の要望を県に出したが色良い返事がないと聞いた。
A 現在、県において蜷川ポンプ場を建設している。高潮で水門が開まると上流の雨水の排水ができないため、これを排水するためのものである。地震対策として、水門から下流の浜側の堤防は耐震化が済んでいる。今後は大浜側の堤防耐震化を進めていくと聞いている。河口の水門整備は次の段階として、引き続き県に対して要望していく。



Q 尾城町は20数年前に冠水対策で盛土したが、冠水しないかの許容量を教えてください。
A 計画上では排水可能能力は1時間50mmの雨量に耐えられるのが一般的排水先が詰まるとそれも適わないこともある。

環境・衛生

Q 広報紙で空き缶やペットボトルの処分方法やりサイクルすることによりどの程度収入を得ているか、具体的に分別の効果を説明してほしい。
A 分別や再利用について、広報紙やいろいろな場面で広報していく。

Q 碧南市は新しく雑紙を回収するようになり、燃やすごみが減って助かる。クリーンセンター衣浦の収集は碧南市と高浜市で分けているのか。
A 収集の種類の仕方が多少違うので、クリーンセンター衣浦では、調整しながらやっている。



まちづくり

Q 区役員の任期が1年だと課題に対して解決できない。年度の終わりに連絡委員の課題を次年度に反映する会を開催してはどうか。
A 1年の任期が終わった時点での反省会や申し送りなどは各地区でやられていると思うが、全市的にやるということとは、一度検討させていた



福祉・子育て



△現在の遊歩道

Q 老人の安全を考えて各地区の区民館にAEDを設置して欲しい。
A すべての市立学校や保育園、公共施設にAEDを設置しており、それを利用して欲しい。また、消防署によると市内は通報後5分以内に救急車が到着する範囲にあるため、AEDの活用と併せて消防署へ早急に通報してほしい。